

授業改善等に関する報告書（2019年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2019（後期）博物館学過程] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
博物館教育論	小勝 禮子	<p>美術館・博物館における教育普及の役割の重要性について気づかせることを目的とした。アンケート時間が試験の前の短時間だったので、回答者が6割程度だったのが残念だったが、一部の人を除いて欠席者も少なく、ほぼ毎回課題を出したので、予習復習時間も十分とれたと思う。双方向授業、授業のスピード、内容の理解などで、一部の人に不十分だという回答があったので、次年度はより一層双方向のコミュニケーションを心がけていきたい。昨年に引き続き、香雪記念資料館の展覧会を活用した教育普及事業の立案は学生も熱心に取り組み、なかなか面白い提案もあったので、次年度も引き続き行っていきたい。板書（パワーポイント）の量が多すぎるという自由意見が1名からあったが、他の学生は理解できたという回答が多かったので、授業のスピードに留意しつつ、続けていきたい。</p>
保存修復 a	村松 裕美	<p>材料の確認や作品調査について、特に興味深く取り組んでいたと感じている。実物に接し考察することでより理解を深めることになることから、今後も実物を使って授業を行っていく所存である。予習復習の時間が少ないことは大変残念である。調査書の他にレポート提出を増やすことも考えている。</p>